

改善提案書AI 利用者向け仕様マニュアル

1. このアプリについて

改善提案書AIは、入力内容をもとに改善提案書の原案を作成するためのアプリです。真因問診AIからのJSON、または手入力した情報をもとに、Markdown形式の提案書とExcel形式の提案書を作成できます。

2. できること

- 真因問診AIのJSONを読み込みます。
- 改善テーマや現状、制約条件を入力できます。
- 確認質問を作成できます。
- 回答をもとに改善提案書のMarkdown原案を生成できます。
- Markdownを画面上で編集できます。
- Excel形式の提案書を出力できます。
- MarkdownやExcelをdownloadできます。

3. 利用前の準備

- 改善したい問題、現状、制約条件、想定効果を整理してください。
- 真因問診AIの結果を使う場合は、JSONを用意してください。
- AIによる新しい提案生成を使うにはログインしてください。
- 個人情報や機密情報は入力しないでください。

4. 画面項目の説明

- JSON upload: 真因問診AIから出力したJSONを読み込みます。
- 手入力欄: 改善テーマや背景を入力します。
- 提案の宛先・部門・担当者: 提案書に含める補足情報を入力します。
- 確認質問: 提案生成前にAIが確認したい質問を表示します。
- 回答欄: 確認質問への回答を入力します。
- 改善提案生成: 回答をもとにMarkdown提案書を作成します。
- Markdown編集欄: 生成結果を編集します。
- Excel化: 編集後の内容をExcel形式にします。

5. 基本操作手順

1. 真因問診AIのJSONを読み込む、または手入力します。
2. 提案の宛先、部門、制約条件、費用、効果メモを入力します。
3. 確認質問を作成します。
4. 確認質問に回答します。
5. 改善提案を生成します。
6. Markdownを確認・編集します。
7. 必要に応じてMarkdownをdownloadします。
8. 必要に応じてExcel化し、downloadします。
9. 新しい案が必要な場合は、明示的にAI再生成します。

6. 出力される内容

- 改善提案書のMarkdown
- Excel形式の改善提案書
- 必要に応じて、現状写真と改善後イメージ写真を含むExcel

7. 無料利用回数の考え方

- 新しい改善提案のAI生成が成功したときに1回として数えます。
- 明示的なAI再生成も新たに1回として数えます。
- 確認質問、Markdown編集、Excel化、download、再downloadは数えません。
- Markdownを表示せず内部で提案生成後にExcelへ進む操作でも、新しい改善提案のAI生成が成功した時点で1回です。
- Excel化そのものはcount対象ではありません。

8. 入力・出力例

入力例:

- 改善対象: バリ発生の低減
- 現状: 加工後の手直しが発生している
- 制約条件: 新規設備投資は最小限
- 効果メモ: 手直し時間の削減を期待

出力例:

- 現状課題
- 改善案
- 実施手順
- 期待効果
- リスクと確認事項
- MarkdownまたはExcelの提案書

9. 注意事項

- AIが作成した提案は原案です。
- 効果金額、実施期間、実現性は利用者が検証してください。
- 提案内容は、現場条件、安全、品質、法令、社内ルールに合わせて確認してください。
- 重要な提案は、関係者レビューを経てから使用してください。

10. よくあるエラーと対処

- 確認質問が作れません: 入力内容が不足していないか確認してください。
- 提案生成が停止しています: ログイン状態と無料利用回数を確認してください。
- 回答が不足しています: 確認質問への回答を入力してください。
- Excel化できません: Markdown本文があるか確認してください。
- AI設定が不足しています: 管理者または運用担当者に確認してください。
- backendに接続できません: backendが起動しているか確認してください。

11. 個人情報・機密情報について

個人名、顧客名、取引条件、未公開の改善テーマ、秘密情報、契約上外部送信できない情報は入力しないでください。必要な場合は、匿名化または一般化してから入力してください。

12. 問い合わせ先

自社業務への導入や継続利用については、次のページからお問い合わせください。

<https://victorconsulting.jp/contact/>